

2004.10月

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・平成16年度調査報告研究会及び会員情報交流会のお知らせ P 1
- ・第2回日英都市再生会議：開催報告 P 2～3
- ・財団の活動状況 P 4
- ・品川新拠点研究会の新体制紹介 P 5
- ・平成16年度 土地有効活用提案競技(土地活用モデル大賞)のお知らせ P 6

《ハイライト》

- ・平成16年度調査報告研究会及び会員情報交流会のお知らせ
- ・品川新拠点研究会の新体制紹介

§ 平成16年度調査報告研究会及び会員情報交流会のお知らせ

標記報告会兼交流会は、会員の皆様に当財団の活動状況をご報告し、またご参加頂いた皆様から色々な意見を賜り今後の財団活動に生かして行きたいと考えて、年一回開催しているものです。

ホットな行政情報を提供する目的で、当日は国土交通省からの講演も予定しております。

本年度の講演と調査報告の内容は、下記の通りです。

講演： 「まちづくり交付金制度の現況について（仮題）」
国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長 松井直人氏

受託調査報告

- ①地域主体の新たな管理手法導入による持続的なまちづくり方策検討調査
－全国都市再生モデル調査について－
- ②公民連携による都市開発事業の推進に向けて
－地区開発マネジメントの提案－
- ③中国における都市国際競争力について
- ④土地有効活用の現況について
- ⑤普天間飛行場跡地利用の基本方針検討調査について

自主研究報告

- ①品川新拠点研究会の活動状況について

■日時：平成16年11月15日(月) 14:00～19:00

■会場：ルポール麹町

・調査研究報告会：14:00～17:00 マーブルの間

・会員情報交流会：17:15～19:00 ルビーの間

交流会には、国土交通省都市・地域整備局の幹部の方にもご出席頂く予定です。

こうした場で、公民による自由な意見交換ができれば幸いと考えております。

日頃よりご高配を頂いております会員の皆様方に、親しくお会いできますことを心より楽しみにしております。

照会窓口：企画調整部03-5976-5860



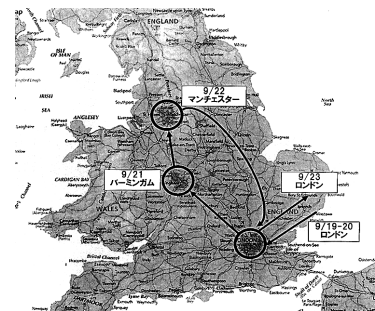
§ 第2回日英都市再生会議：開催報告

1. 会議開催の背景と経緯

第2回日英都市再生会議と英国都市再生プロジェクトの視察会が、平成16年9月20日～22日の日程で、ロンドン・バーミンガム・マンチェスターで開催された。

この日英都市再生会議は、昨年6月に、英国大使から上野内閣官房副長官（当時）への働きかけにより開始されたものであり、第1回目は、昨年10月6日～8日の日程で、我が国で開催された。

第2回日英都市再生会議 行程



2. 第2回都市再生会議（於：ロンドン）

- ・開催日時：平成16年9月20日 9：30～12：00
- ・開催場所：クラウンプラザホテル
- ・日本側：正式メンバー9名＋事務局他3名
国土交通省3名、都市再生本部・学識経験者（東大）
都市再生機構各1名、民間企業3社
- ・英国側：正式メンバー7名＋事務局他6名
副首相局3名、イングリッシュパートナーシップ
（政府系）1名
貿易投資総省2名、民間企業1社



【日本側発表】

- ◇和泉洋人氏：国土交通省大臣官房審議官（住宅局担当）
（テーマ）日本の都市再生
（内容）・都市再生の経緯と背景・都市再生の考え方と目標
・都市再生本部の活動・都市再生が抱える課題 他
- ◇浅見泰司氏：東京大学空間情報科学研究センター教授
（テーマ）都市再生と住宅
（内容）・都市再生の考え方 ・なぜ今日本で都市再生なのか
・インセンティブに対する考え方 ・中心市街地活性化方策 他
- ◇田中 修氏：清水建設（株）建築事業本部開発営業統括部長
（テーマ）日本の住宅事情
（内容）・人口都心回帰現象の実態・高層住宅都心集中の背景
・都心高層住宅開発の代表事例・懸念される今後の課題 他

【英国側発表】

- ◇Andrew Wells 氏：副首相府サステイナブルコミュニティダイレクター
（テーマ）サステイナブルコミュニティの形成 ・政府の総括的見解
（内容）・サステイナブルコミュニティプラン Feb2003・都市再生に関する国家プラン
・英国南北地域が抱えている住宅事情 ・サステイナブルコミュニティの定義 他



- ◇Trevor Beattie 氏：イングリッシュパートナーシップ 企業戦略部ダイレクター
 (テーマ) 都市再生庁 (イングリッシュパートナーシップ) の活動
 (内 容) ・戦略対象地区を決め独自のポートフォリオを展開
 ・荒廃地・再開発対象地の活用方策を政府にアドバイス
 ・国有地の有効活用チェック (サステイナブルコミュニティ形成の視点)
 ・そこで暮らしたくなるようなコミュニティ創出支援
 ・都市や街の生活水準を向上させることで都市復興を支援
- ◇Roy Adams 氏：ビルディング・デザイン・パートナーシップ社 社長
 (テーマ) 中心市街地の再生におけるプライベートセクターの役割
 (内 容) ・20世紀後半から衰退に向かった中心市街地
 ・投資したくなるような環境 ・真の中心市街地活性化方策
 ・都市再生の事例紹介：Belfast・Liverpool・Sheffield
 ・各地で展開されているパートナーシップの仕組み

3. ストラドフォード視察

*今回は紙面の都合で本プロジェクトの紹介のみとさせていただきます

(プロジェクト概要)

ロンドン東部の、業務・商業・住宅・アミューズの大規模複合再開発。

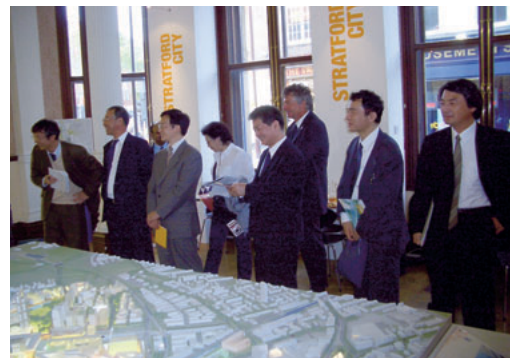
世界都市ロンドンには世界の金融・経済・文化の中心地であり、他国の主要都市と競いながら国際社会での地位を確保・発展させるためには、絶えず自らのイメージの維持・改善を図らねばならないというプレッシャーと戦っている。

その一つに、金融優位性を巡っての、パリ・フランクフルトからの挑戦がある。

その為、ロンドンでは再生活動が絶える事なく実施されている。

本プロジェクトも、こうした英国戦略の期待を担って計画されているものであり、2012年オリンピック大会誘致活動 (実現すれば隣接地での開催を計画) と絡めた開発が進められている。「当地に国際鉄道の新駅が開設され、大陸からの表玄関となれば、中心市街地 (シティ) を支える重要なビジネス要拠点となる」ことが期待されている。

総投資額は40億ポンド (約8,000億円)。雇用創出効果30,000人。4,500戸の住宅供給等が計画されている。



*この訪英団には篠原企画調整部長が事務局の一員として参加いたしました。



§ 財団の活動状況

日	9月	日	10月
2	秋葉原駅第1出入口上空利用事業 WG 会議	5	沖縄県跡地利用 WG 会議
6	鐘ヶ淵 WG 会議	6	鹿児島駅周辺地区第2回地域住民意見交換会
8	沖縄県跡地利用 WG 会議	7	秋葉原駅第1出入口上空利用事業 WG 会議
9	沖縄県跡地利用調査第4回委員会	12	土地活用提案競技表彰式
14	鐘ヶ淵 WG 会議	12~15	イタリア（アッシジ市・ボローニャ市・ヴェニス市・ヴェロナ市）公式訪問
22	第二回総合アドバイザー会議	14	浦和美園調査 WG 会議
24	さいたま企業誘致推進会議第2回	20	さいたま市企業誘致推進会議都市開発部会第2回
		25	浦和美園調査 WG 会議
		18・22 ・27	地域資源活用構想等策定支援調査検討会

【財団関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

3	交通結節点周辺のIT都市整備研究会 （柏市モデル） 第3回	25	環境負荷の小さなIT化都市研究会幹事打合
7	連携セミナー（共催）第3回	27	交通結節点周辺のIT都市整備研究会 （柏市モデル） 第4回
22	幹事会		
28	公民情報交流会 第1回		

《地方の拠点まちづくり協議会》

7	連携セミナー第3回	14	北海道・東北ブロック地方拠点施策研究会
10	運営会議	20	岐阜市福祉のまちづくり研究会第2回
28	公民情報交流会（共催） 第1回		

《都市地下空間活用研究会》

1	八重洲分科会 A-WG	1	八重洲分科会 A-WG
8	八重洲分科会 拡大幹事会	13	八重洲分科会 拡大幹事会
16	八重洲分科会 C-WG	20	八重洲分科会 C-WG
28	八重洲分科会 A-WG	26	八重洲分科会 B-WG
29	八重洲分科会 B-WG	29	八重洲分科会 A-WG

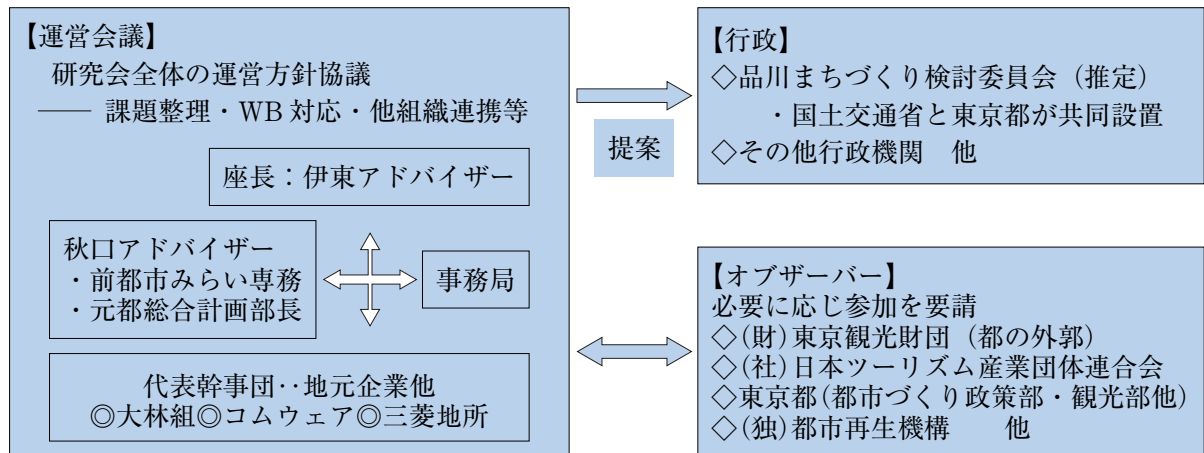
《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

9	講演会「国土交通省都市・地域整備局関係予算概 算要求概要」	29	中部地区都市基盤施設整備見学会 （愛知万博会場・中部国際空港）
14	技術研究発表委員会		
30	企画運営部会		



§ 品川新拠点研究会の新体制紹介

本研究会は、提言を目的に昨年9月に設置した、財団会員参加型自主研究会です。
先月の中間とりまとめを機に下記の通り検討体制を見直しました。
現在ご参加頂いていない方でご参加をご希望の方はお申出下さい。関係者と相談の上、ご期待に沿いたいと考えております。（担当：企画調整部）



AWB：先進的エンタテインメント機能導入・産業振興ビジョン系

【幹事団】 下記チームの主副主査で構成（役割）WT間の意見調整

- a 観光パビリオン提案 ⇒ (主)三菱電 (副)清水・コムウェア (般)バシコン・松下工・ファシリティ
—— 日本の魅力を効果的に伝える観光アミューズメント施設提案
- b テーマパーク型ホテル提案 ⇒ (主)地所 (副)山下・コムウェア (般)松下工・ファシリティ
—— 大人や旅行者が楽しめるラスベガス型ショー併設型ホテル提案
- c ラスベガス型ショー提案 ⇒ (主)コムウェア (副)地所・大林組 (般)松下工・ファシリティ
—— 劇場都市ラスベガスの骨格を成すエンタテインメント施設提案
- d 映像情報機能提案 ⇒ (主)コムウェア (副)清水 (般)松下工・三菱電・東芝・地所・NEC
—— 映画・アニメ等関連機能の導入方策提案

BWB：先進的水辺インフラの導入・港湾基盤系

【幹事団】 下記チームの主副主査で構成（役割）WT間の意見調整

- e 水上活用提案 ⇒ (主)鹿島 (副)日建シ・大成 (般)鉄建・熊谷
—— 護岸活用・水上ステージ・水上歩行者空間創出提案
- f 水辺モデル拠点開発提案 ⇒ (主)大林 (副)日建シ・オオバ・鹿島 (般)鉄建・ファシリティ・戸田
—— 止まり木的なエンタテインメント空間（倉庫等）の開発提案／・前田・熊谷・山下
- g 海上交通提案 ⇒ (主)日建 (副)鹿島・若築 (般)五洋・鉄建・富士通・熊谷・復建・新日鉄
—— 河の手線構想・広域水上連携（TDL・MM21等）・未来型交通手段提案

CWB：先進的都市インフラの導入・都市基盤系

【幹事団】 下記チームの主副主査で構成（役割）WT間の意見調整

- h 環境都市提案 ⇒ (主)東ガス (副)東電 鹿島 (般)三機・地所・三菱電・東亜・東電・オリコン・富士電
—— 自然エネルギー活用・ヒートアイランド対策・水質浄化システム等の提案
- i 陸上交通提案 ⇒ (主)大成 (副)復建 (般)鉄建・地所・前田・熊谷組・東芝・三菱電・オリコン・新日鉄
—— 交通動線・観光バス拠点・駅前広場・未来型交通手段等の在り方提案
- j 都市システム提案 ⇒ (主)エックス (副)コムウェア (般)ファシリティ・アジア航測・熊谷組・オリコン
—— 下水道光ファイバー網活用、防犯システム、エリアマネジメント、事業化手法等の提案



§ 平成16年度 土地有効活用提案競技（土地活用モデル大賞） のお知らせ

低・未利用地の有効活用の一環として、当財団では平成14年度より特定の低・未利用地に関する土地活用方策のアイデアを募る提案競技を実施し、数多くの優れたご提案をいただきました。

本年度はその第3回として、すでに低・未利用地の活用がなされた、土地活用の模範的事例、いわば「成功モデル」に着目した提案競技を行います。

提案競技の概要は、下記の通りですが、スケジュール、応募方法等の詳細につきましては決定次第お知らせします。

1. 低・未利用地有効活用提案競技の概要

次の要件のすべてに該当する土地活用事例を全国から広く募集し、優れた事例を表彰します。

- 従前の低・未利用地の状態から、有効な土地転換が図られたもの
(低・未利用地＝更地、遊休化した工場、平面駐車場、仮設展示場、商店街の空き店舗、密集住宅地の空き家など、より有効な土地活用が可能な土地)
- 平成10年以降に施設開設され、現時点において適切な運営管理がなされており、健全に機能しているもの
- 地域活性化を促す土地活用における先導性・創造性、手法の汎用性など、全国のモデルとなるもの
- 総合的土地活用事業マネジメント、土地活用構想・計画の立案、適切な施設立地・都市機能導入（適切な都市サービスの提供）、効果的な敷地整序、機動的資金調達の実施、円滑な事業実施のための公民連携、管理運営などに配慮されたもの

2. 応募者の資格

土地活用に携わった事業者（法人（法人内のチームを含む）または個人）、および公共団体とします。具体的には、下記に示す業務のいずれかに携わった者

- ・総合的土地活用事業マネジメント
- ・土地活用構想、計画の立案
- ・施設立地、機能導入推進
- ・敷地整序
- ・資金調達
- ・行政との調整
- ・施設の運営管理
- ・その他の重要な業務

（財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.or.jp

ホームページもご覧ください
<http://www.toshimirai.or.jp>

当財団は、1985年7月に公民連携支援母体として建設省《国土交通省》により設立された都市開発支援財団です。200弱の自治体・民間企業・公益法人に会員としてご支援頂いております。シンクタンク機能からプロデュース機能の拡充を図ってきております。

- ◇都市拠点開発・都市再生支援
- ◇中心市街地活性化支援
- ◇低未利用地有効活用支援 他